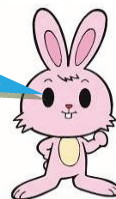


<vol. 138 の記事>

- CSRレポート クラブの社会貢献活動について
- 拠点クラブ事業報告 トップアスリート等の派遣



Club Social Responsibility

浦和スポーツクラブでは、公共施設等をお借りしたり、totoの助成等を受けている社会的責任を果たすべく、いくつかの社会貢献・地域貢献事業を実施してきました。

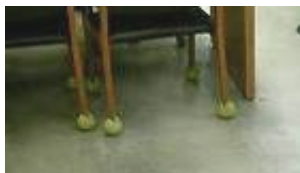
■海外へのスポーツ用具支援

2002 年頃にアルディージャの事業に協力し、サッカーボールを提供させていただいたのを始めとし、2005 年～2006 年には、グリーンスポーツアライアンスさんのプロジェクトに参加し、サッカー・テニス用品などを会員から集めてお送りさせていただきました（写真は、ケニアのスポーツキャンプ／写真中央の赤いユニが、浦スポからのものです）。輸送手段や現地での受け渡しなど難しい問題があり、近年は行っておりませんが、機会をみて進めていきたいと思ひます。（詳細はニュース vol55）



■中古テニスボールの学校等での再利用

クラブでは使用済みテニスボールの有効活用として学校や施設の椅子・机にテニスボールを付けるプログラムを推進しています。これにより、「騒音防止」「床に傷が付かない」「移動が楽になる」などの効果があります。これまでに、市内のおよそ 20 の小中学校や公共施設の机や椅子に、集めた中古ボールを取り付けてきました（詳細はニュース vol72 参照）



■被災地支援

東日本大震災を受け、クラブでは次の3つのプロジェクトを進めてきました。

- ・スポーツ用品の寄贈（昨年4月に届けてきました）
- ・子どものスポーツ支援プロジェクトへの協力
- ・避難者へのスポーツ支援プロジェクトへの参加

子どものスポーツ支援プロジェクトでは、会員や指導者の方から毎月 100 円づつをご寄付いただき、これまで 100 万円以上を、プロジェクトに送金し、被災地の地域クラブの活動支援に使われています。

また、被災地から避難されてきた方々のスポーツ活動を支援することとし、2011 年度から、避難者の方がクラブのプログラムに無料で参加できるようにしています。

■ふらっと広場の運営

常盤スタジオは、埼玉工業さんから部屋の無償貸与をいただいています。午前中はフィットネスのプログラムを行っていますが、午後からは、週4日間、地域の子供達に開放し、主に大戸小や常盤北小の子供達も、放課後に友達と遊んだり、宿題をしたりする場所として、毎日、数名～50 名の利用があります。

光熱費や文房具などの消耗品、および、ボランティアスタッフへの謝金など、年間で 130 万円ほどをクラブで支出しており、行政からの支援等は受けていません（開設当初の整備には、市のモデル事業を活用させていただきました。詳細はニュース vol86 参照）

■星空スポーツ広場

2007 年 12 月から埼玉県と浦和高校とクラブの協働事業として、毎週土曜日夜に、グラウンドおよび体育館をお借りし、地域の皆さんを対象としたスポーツ広場（サッカー、バドミントン、卓球、バスケットボール）を実施しています。



平日や日中、忙しくてスポーツをする機会が少ない方々や、親子・家族で参加したい方々などに場を提供するとともに、地域住民が気軽に交流する機会提供を目的にしています。

天候にもよりますが、毎週 100 名前後の皆さんが参加してくださり、楽しく汗を流されています。

また、浦高の部活動が休みの日曜日などを活かして、地域の方々にむけた各種イベントなども実施しています。

■親子キャッチボール教室

2009 年 12 月、2012 年 3 月の2回、浦和高校グラウンドにおいて親子キャッチボール教室を開催しました。

地域の親子 200 名前後が参加し、キャッチボールを楽しみました（参加費無料）

■きた！Urawaフェスタの開催

新しい地域の交流の機会づくりを目指して、住民の関心が高まっている防災と、楽しく参加できる運動会をかけあわせたイベントの実行委員会に参加し、企画運営を担当しました。

第1回を5月20日に実施し、約 400 名の参加者を得ました（詳細は、ニュース vol136 参照）。

■キッズテニス大会 in SAITAMAの主管

小学生年代からのテニスの普及を目的として、キッズテニス大会 in SAITAMA を開催してきました。

実行委員会の主管クラブとして準備・運営、費用負担（20～30万円）などを行っています。また、市内を中心としたテニス愛好家、50名近い方々に審判や運営のボランティアスタッフとして参加していただいています。

今年度で第5回を数え、毎年150～200名が参加して熱戦を繰り広げます。大会の優勝者が、全国大会でも活躍するほどになっています。



同時に、初心者のための体験教室なども実施しています。

■浦和東部元気アップネットワークへの参加

地域包括支援センター・スマイルハウスさんと協力し、木崎第一自治連区域の自治会、民生委員、NPO、ボランティア団体などに呼び掛け、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりを目指したネットワーク会議を開催しています。



■浦和スポーツ塾

クラブメンバーの人脈を活かし、スポーツ関係の各界のスペシャリストをお呼びし、地域のスポーツ関係者にむけた講演会などを実施してきました。

元Jリーガーや、日本サッカー協会やオリンピックチームの帯同スタッフ（ドクターや栄養士など）など、これまで20回を数えています。



■塩野副理事長から応急対応の講習を受け、AEDの練習■



■小川リーダーのもと、1学期の振り返りをグループ協議■



各プログラムの様子



北小キッズテニス



サッカースクール

拠点クラブ プロジェクト報告

■トップアスリート派遣

昨年に引き続き卓球の斉藤清さんと、今年度はテニスの石田洋平さんの派遣が始まっています。陸上関係は、秋頃から始める予定です。

写真は、石田洋平プロによる、いずみ高校テニス部での指導風景です。プロの指導を直接受ける貴重な機会に、みんな真剣に聞き入っていました。



■体育活動コーディネーター派遣

小学校の体育のさらなる充実を目指して、体育の得意な人材を浦スポで集め、木崎小、上木崎小、三室小、本太小、仲町小、栄和、常盤小、善前小、大東小、河合小に派遣しています。

クラブからの情報発信ツール

■クラブニュース：過去のニュースはWEBに掲載

■ユース連絡ブログ：<http://ameblo.jp/urawascgami/>

■facebook：<http://www.facebook.com/urawasc>

facebookでは、クラブの昔の写真を公表しています。タイムラインをたどってみてください。

■メルマガも配信始めました：
無料です。携帯からも簡単登録。



子どものスポーツ支援プロジェクト6月分は、

¥ 112,750—

をプロジェクトに送金いたしました。ご協力ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。



2012年度、浦和スポーツクラブは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。